

身近な話題と情報で結ぶ

いばらきのページ

利根町の薄井近一さん



利根町で農業委員とし
て活躍している薄井近一
さんがステビアの栽培に

グアイが原産地でキク科
薬草として使われてき
る。多
年草植物である。古
来から天然甘味料また
は「なれば」と薄井さん
は言う。

効用は多彩 ステビア栽培

薄井さんがステビアの栽培に取り組んだきっかけは、5年前にさかのぼり、減反政策の一環として30㍏の水田に約6000本の苗を植え付けたのが始まり。

当時を振り返り、「特
にこれといった特産品が
ない利根町に町の特産品
になれば」と薄井さんは

今では、2㍏を栽培し経て、4月下旬にようやく苗を植え付ける。7月になるまでには、苦勞の連続だった」と当初から栽培を手助けしていた厚田済さんは話す。

もともと温暖な気候が原産地のため、多年草とはいえず寒さには弱く、1年で刈り取ってしまう。

2月の中旬に種をまき、3月中旬に苗付けを

●手前が厚田済さん、後ろが薄井近一さん①苗付け作業も盛んだ

減反政策の一環 町の特産品狙う

手作業多く苦勞の連続

下旬頃から収穫作業に入るが、刈り取りは機械ではなくはさみで一本一本刈り取らなければならない。ステビアは、甘味料としてだけでなく、人に對する効用として、糖尿病、アトピー性皮膚炎、肝臓病、心臓病などさまざまな症状を改善する効果があるとされている。また、病原性大腸菌の殺菌作用、ヒスタミンの解毒作用等があるとされている。